



にしきの つうしん

# 錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和8年1月31日(土)

さいたま市立馬宮中学校

令和7年度 第10号

学校教育目標

未来を拓け ~自己の創造・生きる自信~

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ~Self Creation · Confidence to live~

## 冬を越えて、春へ歩む

校長 衛 藤 伸 介

明日から暦の上では春を迎える2月となります。旧暦ではこの月を「如月(きさらぎ)」と呼びます。「衣更着(きさらぎ)」が語源とされ、寒さが厳しく、衣をさらに重ねて着る季節であることを表していると言われています。また、草木が芽吹き始める「生更木(きさらぎ)」に由来するという説もあり、厳しい寒さの中にも、春の息吹が確かに近づいていることを感じさせる美しい呼び名です。

1年の中でも最も寒さが厳しい時期ですが、校庭では日差しの明るさが少しずつ増し、朝の空気の中にもどこか柔らかさを感じられるようになってきました。季節の移ろいはゆっくりですが、確実に次のステージへと向かっています。生徒の皆さんの成長もまた同じで、日々の小さな積み重ねが、確かな変化となって表れてきています。

3学期は1年間の学習や生活を振り返り、次の学年へとつなげる大切な時期です。授業では、これまで学んだ内容を整理し、理解を深める場面が増えていきます。苦手な分野に向き合うのは勇気が必要ですが、今こそ克服のチャンスです。自分のペースで構いませんので、できることから一歩ずつ取り組んでいきましょう。

生活面では、クラスや学年のまとまりが一層求められます。年度末に向けて行事や委員会活動も多くなりますが、一人ひとりが自分の役割を果たすことで、学校全体がよりよい方向へと動いていきます。仲間と協力しながら、最後まで責任をもって取り組んでほしいと思います。

3年生にとっては、中学校生活の締めくくりが目前に迫っています。進路選択に向けて緊張感のある日々が続きますが、これまで積み重ねてきた努力は必ず力になります。自分を信じ、最後まで粘り強く取り組んでください。また、卒業に向けて学校生活の一つひとつが「最後の経験」になっていきます。友達との会話、授業の時間、部活動の仲間との瞬間など、何気ない日常がかけがえのない思い出となるでしょう。残された時間を大切に過ごしてほしいと願っています。

1・2年生は、先輩の姿を見つめながら、自分たちが次の学年を担う自覚を育てる時期です。新年度が始まると、学校の中心として活躍する場面が増えていきます。今のうちに、学習習慣や生活リズムを整え、心の準備をしておきましょう。

如月を控えた冷たい空気の中にも、春の気配は確かに近づいています。年度の締めくくりに向けて、一人ひとりが自分の目標を見つめ直し、前向きに歩みを進めていきましょう。残りの2か月が、皆さんにとって実り多い時間となることを願っています。